

表 3-5-7-2 林業分野の主な調査・研究の概要

〔林業振興課〕

研究機関名： 林業技術総合センター		
1	調査研究名	木質系バイオマス資源の供給可能性に関する調査(平成24年～平成25年度)
	目的	木質系バイオマスの供給体制の構築に向けて、資源の供給可能性を調査する。
	概要及び成果	木質系バイオマスの供給体制の構築に必要な未利用木質バイオマス資源の発生量や、利用量等を調査し、地域の供給可能性を推定する。
2	調査研究名	木質バイオマス再生利用技術の開発(平成24年～平成26年度)
	目的	木質バイオマスの再生利用技術と利用モデルを開発する。
	概要及び成果	土砂混入材や樹皮、利用後の残材・残滓などの現状では利用が進まない木質バイオマスの再生利用技術と利用モデルを開発する。
3	調査研究名	マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ実生家系の評価とさし木品種の開発に関する研究(平成24～27年度)
	目的	松くい虫被害対策の一つとして、マツノザイセンチュウに対して抵抗性を有する品種を開発する。
	概要及び成果	マツノザイセンチュウ抵抗性品種(クロマツ)7品種の実生後代の抵抗性の評価を実施するとともに、さし木発根性を調査し効率的なさし木生産が可能な品種を開発する。
4	調査研究名	里山広葉樹林の管理技術に関する研究(平成22年～26年度)
	目的	高齢化した里山広葉樹林について、多様性に富む森林に誘導・管理する施業技術を研究する。
	概要及び成果	更新に必要な高木性樹種の成長や下層植生の多様化を促す技術について研究し、里山広葉樹林の整備指針作成に資する。